



サービス プロファイルとテンプレート

- [デバイス プロファイルとテンプレートの概要, 1 ページ](#)
- [デバイス プロファイルとテンプレートの設定タスク フロー, 2 ページ](#)

デバイス プロファイルとテンプレートの概要

この章では、デバイス プロファイルとテンプレートの設定方法について説明します。特定の機能を設定する方法の詳細については、『*Features and Services Guide*』（<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>）を参照してください。

デバイス プロファイル

デバイス プロファイルは、特定のデバイスに関連付けられるサービス、機能、および電話番号を定義します。デバイス プロファイルを設定後、ユーザ デバイス プロファイルをユーザに割り当てることができます。それによって、ユーザは、デバイスにログインしたときに、それらの機能とサービスをそのデバイスで使用できます。

エンドポイントの SIP プロファイル

SIP プロファイルは、SIP エンドポイントに関連付けられている一連の SIP 属性で構成されています。SIP プロファイルには、名前、説明、タイミング、再試行、コール ピックアップ URI などが含まれます。プロファイルに含まれる一部の標準エントリは、削除または変更できません。

サービス プロファイルとテンプレート

Cisco Unified Communications Manager は、デフォルトのデバイス プロファイルもサポートします。Cisco Unified Communications Manager は、ユーザ デバイス プロファイルがない電話機モデルにユーザがログインするたびに、デフォルトのデバイス プロファイルを使用します。

ピアツーピア イメージの分配

ピア ファームウェア共有機能を使用すると、高速キャンパス LAN 設定において次の利点が得られます。

- 中央集中型 TFTP サーバへの TFTP 転送における輻輳が制限されます。
- ファームウェアのアップグレードを手動で制御する必要がなくなります。
- アップグレード時に多数のデバイスが同時にリセットされた場合の電話機のダウンタイムが削減されます。

ほとんど条件で、ピア ファームウェア共有機能は、帯域幅が制限された WAN リンク上のブランチ導入シナリオでのファームウェア アップグレードを最適化します。

この機能が有効の場合、電話機は、ファームウェア イメージを構成するファイルを要求しているサブネット上の同じ電話機を検出し、転送階層をファイル単位で自動的に構築できます。ファームウェア イメージを構成する個々のファイルは、階層内のルートの電話機だけを使用して TFTP から取得され、TCP 接続によって転送階層に沿ってサブネット上の他の電話機に迅速に転送されます。

デバイス プロファイルとテンプレートの設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	デフォルト デバイス プロファイルでのソフトキーテンプレートの設定 , (4 ページ)	デフォルト デバイス プロファイルをソフトキーテンプレートに追加します。
ステップ 2	共通デバイス設定とソフトキーテンプレートの関連付け , (5 ページ) :	これはオプションです。ソフトキーテンプレートを電話で利用できるようにするには、テンプレートを共通デバイス設定または電話に直接に関連付ける必要があります。システムで共通デバイス設定を使用して設定オプションを電話に適用する場合、このステップを実行します (これは電話でソフトキーテンプレートを使用できるようにする最も一般的な使用方法です)。

	コマンドまたはアクション	目的
		(注) Bulk Administration Tool を使用して複数の電話の共通デバイス設定を関連付ける方法の詳細については、 http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html にある <i>Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration</i> ガイドを参照してください。
ステップ 3	電話機とソフトキーテンプレートの関連付け、(7 ページ)	これはオプションです。ソフトキー テンプレートと共通デバイス設定を関連付けるための代替手段として、または共通デバイス設定と共に、次の手順を使用します。ソフトキー テンプレートを適用して、共通デバイス設定での割り当てや、他のデフォルトのソフトキーの割り当てをオーバーライドする必要がある場合は、次の手順を共通デバイス設定と共に使用します。
ステップ 4	機能管理ポリシーの設定、(8 ページ)	これはオプションです。ソフトキー テンプレートを設定する代替手段として次の手順を使用します。機能管理ポリシーを設定して、特定の機能を有効/無効にして、電話機でのソフトキーの表示を制御できます。機能の共通セットを使用するユーザ グループに機能管理ポリシーを作成できます。たとえば、コールパークおよびコールピックアップ機能を販売グループの従業員はよく使用しますが、社内の全従業員が使用するわけではありません。これらの 2 つの機能だけを有効にした機能管理ポリシーを作成し、販売グループにそのポリシーを割り当てることができます。機能管理ポリシーを作成したら、そのポリシーを各電話機、電話機のグループ、またはシステム内のすべての電話機に関連付けることができます。
ステップ 5	電話ボタンテンプレートの設定、(12 ページ) • 電話機とボタンテンプレートの関連付け、(13 ページ)	各 Cisco Unified IP Phone モデルのデフォルトテンプレートを導入するには、次の手順を使用します。電話機を追加する場合、これらのテンプレートの 1 つを割り当てることも、独自のテンプレートを作成することもできます。
ステップ 6	デバイスプロファイルの設定、(13 ページ)	SIP または SCCP をサポートする任意の電話モデル用デバイス プロファイルを設定します。
ステップ 7	エンドポイントの SIP プロファイルの設定、(14 ページ)	電話の新しい SIP プロファイルを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	デフォルトのデバイスプロファイルの設定, (14 ページ)	SIP または SCCP をサポートする任意の電話モデル用のデフォルト デバイス プロファイルを設定します。

デフォルト デバイス プロファイルでのソフトキー テンプレートの設定

Cisco Unified Communications Manager にはコール処理とアプリケーション用の標準ソフトキー テンプレートが含まれます。カスタムソフトキーテンプレートを作成するときは、標準テンプレートをコピーして、必要に応じて変更します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [ソフトキー テンプレート (Softkey Template)] を選択します。[ソフトキー テンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 新しいソフトキーテンプレートを作成するには、以下のステップを実行します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - デフォルトのテンプレートを選択して、[コピー (Copy)] をクリックします。
 - [ソフトキー テンプレート名 (Softkey Template Name)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
 - [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 3** 既存のテンプレートにソフトキーを追加するには、以下のステップを実行します。
- 検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックします。
 - 既存のテンプレートを選択します。
- [ソフトキー テンプレートの設定 (Softkey Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [デフォルトソフトキーテンプレート (Default Softkey Template)] チェックボックスをオンにし、このソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定します。
- (注) あるソフトキーテンプレートをデフォルトのソフトキーテンプレートとして指定した場合、先にデフォルトの指定を解除してからでないと、そのテンプレートは削除することができません。

- ステップ 5** 右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストから [ソフトキー レイアウトの設定 (Configure Softkey Layout)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 6** [設定するコール状態の選択 (Select a Call State to Configure)] ドロップダウン リストから、ソフトキーに表示するコール状態を選択します。
- ステップ 7** [選択されていないソフトキー (Unselected Softkeys)] リストから追加するソフトキーを選択し、右矢印をクリックして [選択されたソフトキー (Selected Softkeys)] リストにそのソフトキーを移動します。新しいソフトキーの位置を変更するには、上矢印と下矢印を使用します。
- ステップ 8** 追加のコール状態のソフトキーを表示するには、上記のステップを繰り返します。
- ステップ 9** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 10** 次のいずれかの作業を実行します。

- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
- 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「次の作業」の項を参照してください。

次の作業

次のいずれかの手順を実行します。

- [共通デバイス設定へのソフトキー テンプレートの追加](#)、(6 ページ)
- [電話機とソフトキー テンプレートの関連付け](#)、(7 ページ)

共通デバイス設定とソフトキー テンプレートの関連付け

これはオプションです。ソフトキー テンプレートを電話機に関連付ける方法は 2 つあります。

- ソフトキー テンプレートを [電話の設定 (Phone Configuration)] に追加する。
- ソフトキー テンプレートを **共通デバイス設定** に追加する。

ここに示す手順では、ソフトキーテンプレートを**共通デバイス設定**に関連付ける方法について説明します。システムが**共通デバイス設定**を使用して設定オプションを電話機に適用する場合は、この手順に従ってください。これは、電話機でソフトキーテンプレートを使用できるようにする際に、最も一般的に使用されている方法です。

別の方法を使用するには、[電話機とソフトキー テンプレートの関連付け](#)、(7 ページ) を参照してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	共通デバイス設定へのソフトキー テンプレートの追加, (6 ページ)	
ステップ 2	電話機と共通デバイス設定の関連付け, (7 ページ)	

共通デバイス設定へのソフトキー テンプレートの追加

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[デバイス (Device)]>[デバイスの設定 (Device Settings)]>[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] を選択します。
[共通デバイス設定の検索と一覧表示 (Find and List Common Device Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 新しい共通デバイス設定を作成し、それにソフトキー テンプレートに関連付けるには、以下の手順を実行します。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - [名前 (Name)] フィールドに、共通デバイス設定の名前を入力します。
 - [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 3** 既存の共通デバイス設定にソフトキー テンプレートを追加するには、以下の手順を実行します。
- 検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックします。
 - 既存の共通デバイス設定を選択します。
- [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウンリストで、使用可能にするソフトキーが含まれているソフトキー テンプレートを選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** 次のいずれかの作業を実行します。
- 新しい共通デバイス設定を作成してその設定をデバイスに関連付けた後に、デバイスを再起動します。詳細については、「次の作業」の項を参照してください。
 - すでにデバイスに関連付けられている共通デバイス設定を変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。

次の作業

[電話機と共通デバイス設定の関連付け](#)、(7 ページ)

電話機と共通デバイス設定の関連付け

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2 ソフトキー テンプレートを追加する電話機を検索します。
 - ステップ 3 [共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ドロップダウン リストから、新しいソフトキー テンプレートが含まれている共通デバイス設定を選択します。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 5 [リセット (Reset)] をクリックして、電話機の設定を更新します。
-

電話機とソフトキー テンプレートの関連付け

この手順は任意です。この手順を代わりに使用して、ソフトキー テンプレートを共通デバイス設定と関連付けることができます。また、この手順は共通デバイス設定とも連動しています。ソフトキー テンプレートを適用して、共通デバイス設定での割り当てや、他のデフォルトのソフトキーの割り当てを上書きする必要がある場合に使用します。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2 ソフトキー テンプレートを追加する電話機を選択します。
[電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 3 [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウン リストから、新しいソフトキーが含まれているテンプレートを選択します。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 5 [リセット (Reset)] を押して、電話機の設定を更新します。
-

機能管理ポリシーの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	電話機能一覧の生成, (8 ページ)	Cisco Unified Reporting にログインし、電話機能リスト レポートを実行して、機能管理ポリシーをサポートする電話を決定します。
ステップ 2	機能管理ポリシーの作成, (9 ページ)	Cisco Unified IP Phones の機能管理ポリシーを作成します。
ステップ 3	次のいずれかの作業を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話への機能管理ポリシーの適用, (10 ページ) • 共通の電話プロファイルへの機能管理ポリシーの適用, (11 ページ) • すべての電話への機能管理ポリシーの適用, (11 ページ) 	機能管理ポリシーを設定したら、そのポリシーを各電話機、電話機のグループ、またはシステム内のすべての電話機に関連付ける必要があります。各電話の機能管理ポリシーは、クラスタ全体の機能管理ポリシーより優先されます。 (注) 一括管理ツールを使用して複数の電話に機能管理ポリシーを適用する方法については、『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド』を参照してください。

電話機能一覧の生成

電話機能一覧のレポートを生成し、設定したい機能をどのデバイスがサポートしているのか判別します。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified Reporting の管理 (Cisco Unified Reporting Administration)] から [System Reports] を選択してください。
- ステップ 2 レポートのリストから、[Unified CM 電話機能一覧 (Unified CM Phone Feature List)] をクリックします。
- ステップ 3 次のいずれかの手順を実行します。
- [レポートの新規生成 (Generate New Report)] (棒グラフのアイコン) を選択し、新しいレポートを生成します。

- レポートがすでにできていれば、[Unified CM 電話機能一覧 (Unified CM Phone Feature List)] を選択します。

ステップ 4 [製品 (Product)] ドロップダウン リストから、[All] を選択します。

ステップ 5 設定の対象となる機能の名前をクリックします。

ステップ 6 [送信 (Submit)] をクリックします。
レポートが生成されます。

機能管理ポリシーの作成

機能管理ポリシーを作成するには、次の手順に従います。Cisco Unified Communications Manager で複数の機能管理ポリシーを設定できます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] を選択します。

ステップ 2 次のいずれかの作業を実行します。

- 既存のポリシーの設定を変更するには、検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックし、結果のリストからポリシーを選択します。
- 新しいポリシーを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

[機能管理ポリシーの設定 (Feature Control Policy Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [名前 (Name)] フィールドに機能管理ポリシーの名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定でき、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、およびアンダースコア (_) を任意に組み合わせて含めることが可能です。各機能管理ポリシー名がシステムに固有の名前であることを確認します。

ステップ 4 [説明 (Description)] フィールドに、この機能管理ポリシーの説明を入力します。この説明には、最長 50 文字の英数字を指定でき、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、およびアンダースコア (_) を任意に組み合わせて含めることが可能です。

ステップ 5 [機能管理セクション (Feature Control Section)] でリストされている各機能に対して、システム デフォルトをオーバーライドするか、次の設定を有効/無効にするかを選択します。

- デフォルトで有効な機能の設定を無効にする場合は、[デフォルトをオーバーライド (Override Default)] チェックボックスをオンにして、[設定を有効にする (Enable Setting)] チェックボックスをオフにします。

- デフォルトで無効な機能の設定を有効にする場合は、[デフォルトをオーバーライド (Override Default)] チェックボックスをオンにして、[設定を有効にする (Enable Setting)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

次のいずれかを実行します。

- [電話への機能管理ポリシーの適用](#), (10 ページ)
- [共通の電話プロファイルへの機能管理ポリシーの適用](#), (11 ページ)
- [すべての電話への機能管理ポリシーの適用](#), (11 ページ)

電話への機能管理ポリシーの適用

はじめる前に

- 電話モデルが機能管理ポリシーをサポートしていることを確認します。詳細については、[電話機能一覧の生成](#), (8 ページ) を参照してください。
- [機能管理ポリシーの作成](#), (9 ページ)

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** 検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
Cisco Unified Communications Manager で設定されている電話機の一覧が表示されます。
- ステップ 3** 機能管理ポリシーを適用する電話を選択します。
- ステップ 4** [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] ドロップダウン リストから、必要な機能管理ポリシーを選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
- ステップ 7** [OK] をクリックします。
-

共通の電話プロフィールへの機能管理ポリシーの適用

共通の電話プロフィールを使用すると、機能管理ポリシーを設定し、そのプロフィールを使用するネットワーク内のすべての電話にこれらの設定を適用できます。

はじめる前に

[機能管理ポリシーの作成, \(9 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロフィール (Common Phone Profile)] を選択します。
 - ステップ 2 検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
 - ステップ 3 機能管理ポリシーを適用する共通の電話プロフィールを選択します。
 - ステップ 4 [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] ドロップダウン リストから、必要な機能管理ポリシーを選択します。
 - ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 6 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
 - ステップ 7 [OK] をクリックします。
-

すべての電話への機能管理ポリシーの適用

はじめる前に

[機能管理ポリシーの作成, \(9 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択します。
 - ステップ 2 [機能管理ポリシー (Feature Control Policy)] ドロップダウン リストから、必要な機能管理ポリシーを選択します。
 - ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 4 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
 - ステップ 5 [OK] をクリックします。
-

電話ボタンテンプレートの設定

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] を選択します。
[電話ボタンテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Phone Button Templates)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックします。
ウィンドウにサポートする電話のテンプレートのリストが表示されます。
- ステップ 3** 新しい電話ボタンテンプレートを作成するには、以下のステップを実行します。それ以外の場合は次のステップに進みます。
- 電話機モデルのデフォルトのテンプレートを選択し、[コピー (Copy)] をクリックします。
 - [電話ボタンテンプレート情報 (Phone Button Templates Information)] フィールドに、テンプレートの新しい名前を入力します。
 - [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 4** 既存のテンプレートにダイヤル ボタンを追加するには、この手順を実行します。
- 検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックします。
 - 既存のテンプレートを選択します。
- [電話ボタンテンプレートの設定 (Phone Button Template Configuration)] ウィンドウが表示されません。
- ステップ 5** [回線 (Line)] ドロップダウン リストから、テンプレートに追加する機能を選択します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** 次のいずれかの作業を実行します。
- すでにデバイスに関連付けられているテンプレートを変更した場合は、[設定の適用 (Apply Config)] をクリックしてデバイスを再起動します。
 - 新しいソフトキーテンプレートを作成した場合は、そのテンプレートをデバイスに関連付けた後にデバイスを再起動します。詳細については、「次の作業」の項を参照してください。
-

次の作業

[電話機とボタンテンプレートの関連付け](#), (13 ページ)

電話機とボタンテンプレートの関連付け

はじめる前に

[電話ボタンテンプレートの設定, \(12 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
[電話の検索/一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2 [電話の検索/一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウで、[検索 (Find)] をクリックします。
Cisco Unified Communications Manager で設定されている電話機の一覧が表示されます。
 - ステップ 3 電話ボタンテンプレートを追加する電話を選択します。
[電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 4 [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウンリストで、新しい機能ボタンが含まれる電話ボタンテンプレートを選択します。
 - ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。
電話の設定を更新するには [リセット (Reset)] を押すというメッセージ付きのダイアログボックスが表示されます。
-

デバイス プロファイルの設定

デバイス プロファイルは特定のデバイスに関連付ける属性セットで構成されます。

はじめる前に

次のいずれかの手順を実行します。

- [デフォルト デバイス プロファイルでのソフトキー テンプレートの設定, \(4 ページ\)](#)
- [電話ボタンテンプレートの設定, \(12 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] ウィンドウで、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイス プロファイル (Device Profile)] を選択します。
 - ステップ 2 [デバイス プロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウで、[デバイス プロファイル タイプ (Device Profile Type)] ドロップダウン リストから、該当する Cisco Unified IP Phone を選択します。
 - ステップ 3 [Next] をクリックします。
 - ステップ 4 [デバイス プロトコル (Device Protocol)] ドロップダウン リストから、適切なプロトコルを選択します。
 - ステップ 5 [Next] をクリックします。
 - ステップ 6 [デバイス プロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
 - ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。
-

エンドポイントの SIP プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager は、SIP プロファイルを使用して、SIP トランクおよび Cisco Unified IP Phone に関連付けられている SIP 属性を定義します。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] ウィンドウで、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [SIP プロファイル (SIP Profile)] を選択します。
 - ステップ 2 新しい SIP プロファイルを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。
 - ステップ 3 [SIP プロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
 - ステップ 4 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
-

デフォルトのデバイス プロファイルの設定

ユーザがユーザデバイスプロファイルを持たない電話機にログインするたびに、電話機がデフォルトのデバイス プロファイルを取得します。

デフォルトのデバイス プロファイルには、デバイス タイプ（電話）、ユーザ ロケール、電話ボタンテンプレート、ソフトキーテンプレート、Multilevel Precedence and Preemption（MLPP）情報が含まれます。

はじめる前に

次のいずれかの手順を実行します。

- [デフォルト デバイス プロファイルでのソフトキー テンプレートの設定、（4 ページ）](#)
- [電話ボタン テンプレートの設定、（12 ページ）](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] ウィンドウで、[デバイス（Device）] > [デバイスの設定（Device Settings）] > [デフォルトのデバイス プロファイル（Default Device Profile）] を選択します。
 - ステップ 2** [デフォルトのデバイス プロファイルの設定（Default Device Profile Configuration）] ウィンドウで、[デバイス プロファイル タイプ（Device Profile Type）] ドロップダウンリストから、該当する Cisco Unified IP Phone を選択します。
 - ステップ 3** [Next] をクリックします。
 - ステップ 4** [デバイス プロトコル（Device Protocol）] ドロップダウンリストから、適切なプロトコルを選択します。
 - ステップ 5** [Next] をクリックします。
 - ステップ 6** [デフォルトのデバイス プロファイルの設定（Default Device Profile Configuration）] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
 - ステップ 7** [保存（Save）] をクリックします。
-

電話のピアツーピア イメージの配信機能の設定

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウで、電話を選択するには、[電話を次の条件で検索 (Find Phone where)] フィールドで [検索 (Find)] をクリックして電話のリストを取得し、そのリストから電話を選択します。
- ステップ 3** [電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] ペインの [ピア ファームウェア共有 (Peer Firmware Sharing)] ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
- [有効 (Enabled) (デフォルト)] : 電話がピアツーピア イメージの配信 (PPID) をサポートしていることを示します。
 - [無効 (Disabled)] : 電話がピアツーピア イメージの配信 (PPID) をサポートしていないことを示します。
- ステップ 4** [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
-